

## 歯学部に通い続けて20年 今尚白い歯根さわやか

高橋 功

あまり上手な句ではありませんが、私が約850首位作りました中の最近の詩です。

余談になりましたが、内容全体は拙文拙筆をはじめからお詫び申し上げます。

私はあと3ヶ月で満85歳になりますが、通院の20年間を振り返ってみました。

昭和61年と記憶しますが、右の上奥歯に少々出血がありました。驚いて当時の予診科か保存科でしたか忘れましたが、女性の先生に診て頂きましたところ、「ここに来るまでの間に他所の先生に診てもらったことがありますか？」といわれた時に、「生まれてはじめて歯医者に診て頂くために参りました」と申し上げましたところ、先生曰く、「これは光栄です、診たところあまり大したことはありません。歯磨き励行で快くなりますので総合診療室で治療してもらってください。」——これが通院20数年の始まりになりました。以来20年あまりお世話になりました先生方は当時教授の原先生ならびに指導医の田井先生方をはじめ実に20数名男性女性の方々にご厄介になりました。原教授先生には2度程と記憶しますが、咬合調整で診療して頂いているのを覚えております。最初先生は、後にヒゲを生やした入江先生と小林先生でしたが、1回目の咬合調整の時のエピソードと思えますが前述の入江、小林の2名の方に咬合調整の指導を教授の原先生がされる手筈になっていたと推察しますが、何かの手違いから入江先生だけお一人で小林先生は別の患者さんの治療を始めていたと思えます。多分ウツカリされていたかもしれませんが、さあ大変です。原教授がこれを咎めて、大声で、「滅多にやらぬ咬合調整をおろそかにする事は許せない、今日は取りやめだ。」と怒られて詰問をされましたがミスに気付いた入江、小林先生は平謝りされました。2人の先生方にスッポカさ



れた原教授先生面目丸潰れでした。一旦中止を宣言されたことを元に戻すには容易ではありません。原教授先生曰く、「向こうの患者さんに訳を話して謝ってきなさい。」ここで一件落着し咬合調整の指導をされ終わったことを覚えております。その時、初めて大学の教授先生の地位の偉大さと権威の偉大さを同時に驚かされました。その後2回目の咬合調整の経過の確認だと推察しましたが原先生は大きなお声で私に向かって、「高橋さん、患者さんは神様ですよ。」と言われましたが、私の余生の永生きには原教授先生の関わりがあまりにも大きく深く感謝申し上げます。更に指導医の田井先生には10年間位私のカルテを見ておいでとの事で、これまた、他の先生方にもお礼を申し上げる次第です。特に最近田井先生には、「歯の健康を保つに①特別な方法でも今迄やっておりましたか、②遺伝的なものかどうか、一度調べてみたい。」等と気を遣っていることもあったようです。85歳になる私には誠にありがたい、お気遣いを頂いて陰ながら手を合わせております。①の点については、兄弟が多く両親は子供達の養育には苦勞したようです。カルシウム分をとるために色々な

物を幼い頃から食べさせられました。今では体の瘦せた故もあるかもしれませんが、昔食べられた魚の目刺の丸かじりも今は駄目ですし、鰯の開きも骨まで食べたのもだめになりました。更に9人兄弟の長男だったので、父親は食べさせようと鶏の骨だけのものを買って来て、まな板の上でナタを使って骨を砕いて団子状にして食べたのを覚えております。又、鰯も砕いて団子状にした物も食べた記憶があります。何でも無駄にせず焼魚等よく焼いて煎餅の様にカリカリにさせてカルシウムを食べさせることもしたようです。40才位の時代には歯の丈夫に任せて作業で使う細い銅線を歯で切る様にしたこともありますが、今は噛む力が弱って、とても夢みたいなものになりました。㊸の点ですが、遺伝的かどうかわかりませんが9人兄弟(妹)、私も含めて比較的歯の状態が、今でも良いように思っています。

現在迄3ヶ月に1回の割合で通院しておりますが、それにしても指導医の田井先生には失礼ですが、その人柄には敬服している次第です。特に総診に通い続けた近年の4年位風邪を引かないのが不思議です。田井先生をはじめとして今迄治療をして頂いた先生方に歯磨きの大切さを指導され実行した賜として感謝しております。

孫達には、「歯磨きをよくする事で口の中の風邪のバイキンをかき出す効果があって風邪を引かないんだよ。」と教えております。私自身は特に就寝前は30分～40分位歯間ブラシ4本や奥歯専用のブラシ4本、合計8本を使って歯磨きを励行しております。私に比べて家内は今年80歳になりましたが、若い時から歯が悪くガタガタなので私の歯磨きにはヤッカミから来る文句をよく言います。ところで、私は口内炎が癖になる位出来ます。耳鼻科の先生も、その様に指摘されますが、その点、家内はそれを捉えて、歯磨き過ぎたからだと度々言われます。

唯々2年位前でしたか、新潟市主催の医師会で毎年行われる講習会(コンテスト?)にはじめて小学校3年生になる外孫を連れて参加しましたが、孫の近所の、以前口腔外科だった竹本先生とお聞きしました先生が、多分総括責任者と思いましたが女医(歯?)先生方と一緒に指導されてお

りました。私もはじめて参加しましたが、孫には、「キレイに歯磨きしてから行くんだよ。」と教えてから会場に行きましたが、実はもしあまり外の参加者より悪い所があったらと心配の点が心に引っ掛かっておりました。大勢の大人や子供さんが参加しておりましたが、私は大学病院の代表位の気持ちでしたので、大学病院歯学部の名誉にかけての参加だと緊張して順番を待ちました。比較的早い順番でまず孫の番に廻って来ました。会場内の机には、男女の先生方が居並んでおりましたが、まず孫が先に診て頂きました。検査に歯磨きをして行ったので康祐(私の孫)も緊張しておりましたが、先生方に、「よく歯磨きが出来ていますよ。」とほめられました。愈々私の番に廻って来ました。5～6人の先生方の前に椅子に座って診て頂きましたところ、面目を施す様な結果になりました。私の歯を一目見て先生方は素晴らしい歯だとほめられ、先生方から「これからも歯を大切に永生きして下さい。」と5～6人の先生方から拍手を以って送り出され面目を保ちました。後日田井先生にお話をしましたところ、当日歯学部の先生方が数名応援に行かれていたとの事でした。ほんとうに参加してよかったと今でも思っております。その時は分からなかったのですが、実はテレビ局の取材があって、家に帰ってから近所の方や知り合いの方から電話を頂き私達の様子を放映されたとの話がありました事も付け加えさせて頂きます。

去る2月4日と思いますが大久保先生の治療後の手直しと思いますが、多分歯垢を取るためと思いますがグラインダ? を使わずにナイフ状のも



写真2：高橋功様 83歳の時の口腔内写真

ので20年位前当時の入江先生がやられたと思いますがキュッキュッと歯垢か歯石をとられた音に20年前の懐かしさがよみがえってきました。

これからも何年先迄通院が続くか解りませんが、今迄20数年お世話になった大勢の先生方や、原教授先生並びに田井先生に改めて厚く感謝のお礼を申し上げる次第です。今迄お世話になりました20数名の先生方の中には結婚された方や、ご自分で開業医として立派に独立された先生もおられると推察しますが、いずれにしても懐かしさが一杯の先生方ばかりです。私自身も、あと3ヶ月で前述の様に満85歳になりますが、80歳になりました病妻を抱えながら毎日孤軍奮闘中の毎日です。妻を介護するには永生きが絶対条件です。毎朝の神仏頼みには100歳迄生き延びなければと歯磨き励行で永生きを祈念しております。最近年齢から体力のおとろえた故か、物を噛む力が弱ったかなと感じております。なるべく固いものをよく噛んで抵抗力をつけることを素人考えで実行しております。余談で申し訳ありませんが、姓名判断のいたずらを50数年も頼まれればやることもあり、この点でもお付き合いの出来た先生もおります。健康維持のため色紙に字を書き留めたものが、自称現代和歌として前にも述べました様に850首位、下手な俳句も800首余り、分厚いノートに書き溜めております。又、売店の方とも知り合い、歯ブラシを買い求める度に自慢の歯の話等をすることがあります。尚、余談が沢山ありますが、いずれ機会をみて書きたいと思います。

現代では、ワープロとその他便利な物が出来ておりますが、私達の年代では、それをこそまになりません。拙文、拙筆につきましては老人だからとお許しを願います。終わりに20年もお世話になりました先生方も姓は判りますが名は判りませんので、お許しを願って以下順不同ですが列記してみました。

原教授先生	村松先生
田井指導医先生	菅野先生
入江先生	中島先生
小林先生	神森先生
渡辺先生	向先生
小山先生	津端先生
戸床先生	三上先生
渡辺先生	板垣先生
三田先生	今井先生
池亀先生	菅原先生
松田先生	青木先生
内藤先生	大久保先生

注) 文中の小林先生は現総合診療部助教授の小林先生ではありません。

多少創作部分もありますので記述に誤りがありましたらお詫び申し上げます。

平成17.5.30 高橋功 拝  
以上